

(報告様式第3号)

## 改善計画書

事業者名 ( 社会福祉法人ときわ会 特別養護老人ホームひなもり園)

(平成 29年 3月 24日作成)

コメント の 改善 に 向 け た 業 者 の コ	第三者評価において指摘を頂きました「改善が求められる点」について、できる事から早速改善に取り組み、今後のサービスの向上と施設運営に活かすとともに、法人理念の達成に向けて計画的に取り組んで参ります。
---	--

		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で ひきかえ	1	災害時(備蓄等含む)の対応マニュアル及び不審者対応マニュアルが未策定	不審者対応マニュアルの策定 災害時の対応マニュアルの策定	6ヵ月 1年	29年4月 29年7月	29年9月 30年6月	厚労省通知等を参考に不審者対応マニュアルを策定する。なお、災害時対応マニュアルは、備蓄等を含めた事業継続計画(BCP)を策定	施設福祉課 長、事務局 担当者
	2	マニュアルの定期的な見直し及び検証	年1回見直し及び検証	年1回	29年4月	毎年	事務局、事業所ごとに見直し月を定めて実施	事務局 各事業所
	3	虐待に関するマニュアルの整備	倫理規程と行動指針を定めたマニュアルの整備	1年	29年4月	30年3月	倫理規程の改正及び行動指針について理事会へ上程、議決	事務局
中・長期間で ひきかえ	1	中堅職員の育成強化が望ましい。	中堅職員を対象とした教育研修計画の実施	2年程度	29年4月	32年3月以降	個別面談の実施、個に応じた目標設定、研修参加等を計画的に実施、評価を行うことによりリーダー、主任級の育成強化を図る。	人材教育対 策室
今後検討 する	1	苦情相談第三者委員の重要事項説明書未記載、施設内掲示無し	重要事項説明への記載、施設内掲示、相談窓口の複数化	3年	29年4月	32年3月	第三者委員の公表について委員の理解・協力を得るとともに、苦情相談窓口の複数化を図る等の検討を進める。	事務局